

主催 / 2013 子どもの未来をひらくみやぎ教育のつどい

「非行」分科会 テーマ “当事者の話を聴く”

# ひとりび悩まないで!!

第一部 お話 僕が非行に走ったわけ

～挫折と出会い～



高坂 朝人 さん

知的障がい者ケアホーム介護福祉士

愛知県 BBS 連盟南保護区 BBS 会元会長

NPO 法人セカンドチャンス!名古屋交流会責任者

東海「非行」と向き合う親たちの会世話人

- ・「BBS」・・・少年たちに兄や姉のように接しながら活動する団体。
- ・「セカンドチャンス」・・・全うに生きたいと願う少年院出院者グループ。

スターになれる場所を求めて 乗り込んだ非行の特急列車

13歳～24歳、逮捕歴15回の犯罪人生

しかし、自分が親になると知った時、その列車を飛び降りた

同じ非行に走っている少年たちの力になりたいと

出会った「BBS」と「セカンドチャンス!」

第二部 座談会

日時 2013年11月9日(土)

10:15～14:30

場所 フォレスト仙台 022-235-1335

(地下鉄「北四番丁」駅「北2出口」徒歩5分)

連絡先 みやぎ「非行」と向き合う親たちの会(リレーションシップみやぎ)

080-1838-7464(星野) 080-2807-9975(本田)

☆プライバシーを尊重し、安心安全な場として運営します。安心してご参加ください。

## みやぎ「非行」と向き合う親たちの会

(リレーションシップ・みやぎ)

近年における少年事件が、低年齢化・凶悪化とマスコミなどで叫ばれ、教育の理念を持った少年法がこの数年で、どんどん改訂され、厳罰化の一途をたどっています。

また教育基本法も拙速に改訂され、家庭へのしめつけや、子どもへの管理が一層厳しいものになってきています。

しかし厳罰化したからといって「非行」は止まるのでしょうか？減少するのでしょうか？

子どもの「つまづき」には、ひとりひとり違った背景があり原因もさまざまです。

突然、或いはみるみる変化していく子どもの姿に、ほとんどの親はあわて、不安と苦しみでどうしてよいかわからず、時には、学校や地域からも非難され、ひとりで深く悩みをかかえてしまいます。

しかし、さまざまな問題を抱えた子ども自身、大きなストレスを受けていて、内心はとても傷ついています。

「非行」に特効薬はありません。

私たちは、悩みを共有することで、孤立せず、子どもの「つまづき」を受け止め、向き合っていく中で、自ら「気づき」を得、回復していけるものと思っています。

どの子ども、不幸になるために生まれてきたわけではありません。

どの子ども「しあわせになりたい」と心では思っています。

「つまづいてもやり直せるよ」と心から子どもに伝えられる日が、きっと来ることを私たちは信じています。

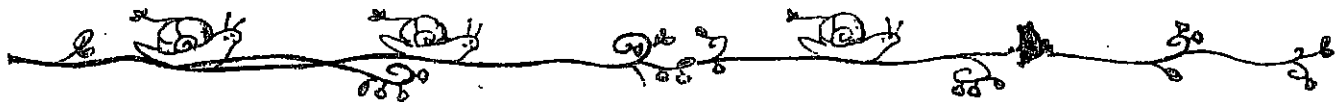
ひとりで悩まず、あなたもぜひ私たちの会へいらしてください。

心からお待ちしています。

「非行」と向き合う親たちの会は

1996年東京でわが子の非行に悩む親と、熱心に非行問題に取り組んでいた教師の思いが集まって立ち上げられた自助グループです。

以来10年、全国各地30ヶ所で結成され、私たちも悩みを共有できる仲間に出会い、ここ宮城にも2007年に設立しました。



### この会の進めかた

- ・自己紹介はしなくてもかまいません
  - ・話すか話さないかは自由です
  - ・聞くだけの参加でも大丈夫です
  - ・自分の体験を話します
  - ・お互いのプライバシーを尊重しあい批判はしません
  - ・ここで話されたことは、互いに外に持ち出さない約束をします
- 安心してご参加下さい

### 定例会のお知らせ

- 毎月 第1土曜日 14:00~17:00  
1月、5月は第2土曜日
- 場所 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
仙台市市民活動サポートセンター  
Tel 022-212-3010
- 参加費 会員 300円  
一般 500円  
(諸事情ある方は半額もしくは無料)

随時、相談を受け付けています。